

デジタルアーカイブの多様な利活用と大学教育の在り方

～変化の激しい社会、「人生100年時代」に対応した教育の構成～

松川 禮子、谷 里佐 (岐阜女子大学)

デジタルアーカイブの利活用が多様な分野で適用が進みだし、2000年からデジタルアーカイブの開発研究を進めてきた。岐阜女子大学では、これに対応した大学教育の展開が必要になってきた。そこで、岐阜女子大学では、変化の激しい社会の発展と「人生100年時代」に対し、高校卒業生から、人生の各局面でのキャリアチェンジに適應できる人材の育成が可能な大学・大学院でのデジタルアーカイブの教育を計画し実現に向けて準備を進めている。

◎高校卒業生は、まず、デジタルアーカイブの基礎を学習し、自分の将来に向けて多様な学びを選択し必要な資格を取得し夢の実現へ

①図書館司書、学芸員や市町村の公務員等は

デジタルアーカイブの基礎科目、地域文化資料デジタルアーカイブ、図書館司書や学芸員を選択し学ぶ……市町村の発展に役立つ人材の育成

②観光（産業）、市町村、企業は

デジタルアーカイブの基礎、地域文化資料デジタルアーカイブ、観光リソース、ドローンなどの関係資格を取得・学ぶ……地域の観光や産業の発展のために貢獻できる人材の育成

③教育、教育産業等企業は

デジタルアーカイブの基礎、地域文化資料デジタルアーカイブ、教育リソース等の資格取得・学ぶ……GIGAスクール構想等にも対応できる力を育成

④新しい分野への発展……岐阜女子大学ドローンカレッジでドローン関係の資格を取得し、デジタルアーカイブの基礎と地域（文化）資料、さらに、ドローン等の新しい分野の資格を取得し、次の世代の大きな夢のある産業への発展。

◎短期大学卒業、大学卒業（または3年次編入）の方は編入生として学ぶ

各自の夢を叶えるため、各自で学ぶ分野を選択履修し、資格等を取得し、実現への努力

◎企業内の新しい分野へのチャレンジ

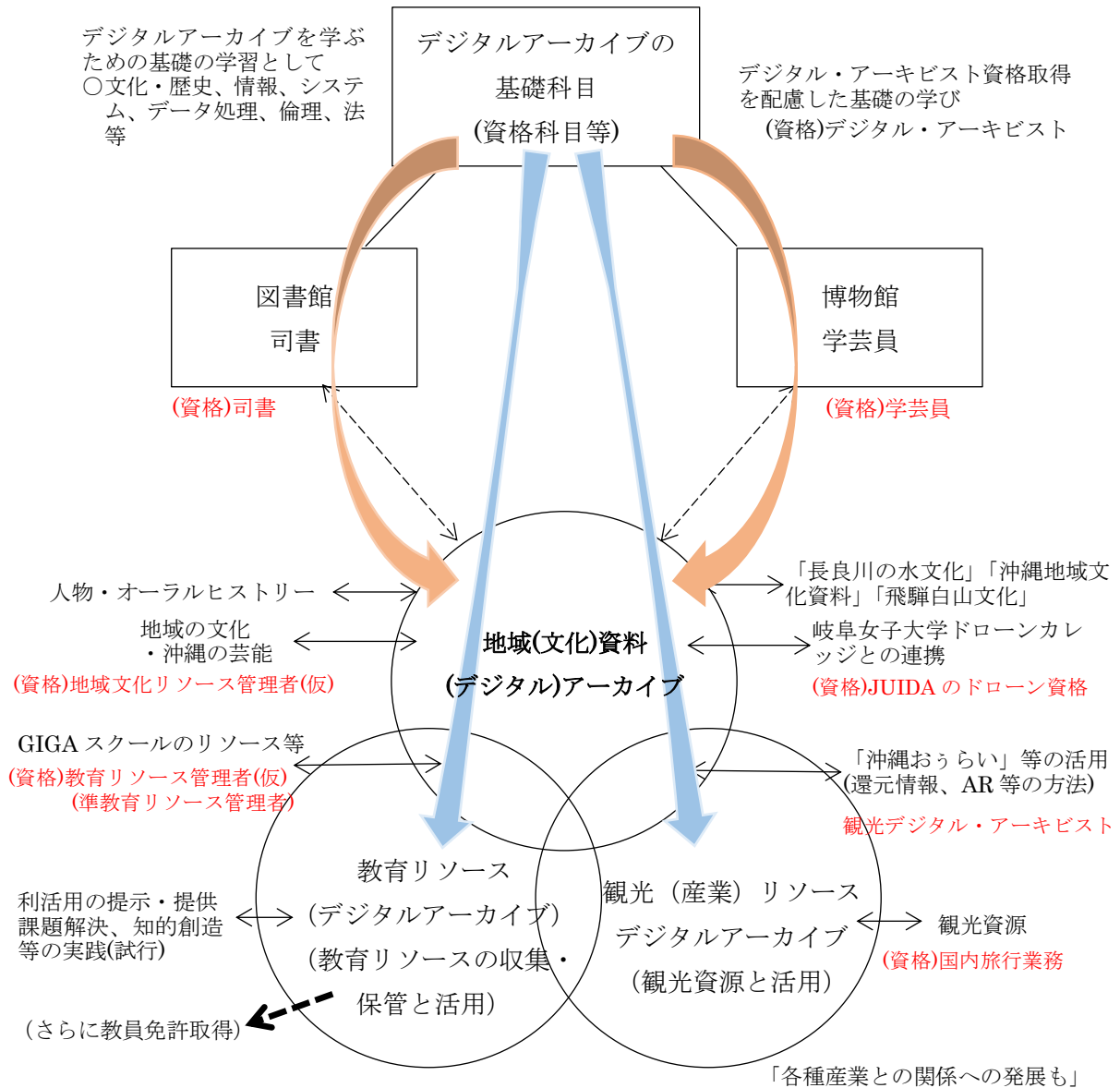
転職、就職等のキャリアチェンジの希望者……選科生、履修選科生として、各自で分野を選び、履修し、キャリアチェンジにも必要な資格を取得・学ぶ

岐阜女子大学では、遠隔教育で多くの高等学校、中学校、小学校、幼稚園等の先生方が教員免許状更新講習講座（数千名）や上進講座を受講している……2000年からの研究をもとに現在、全国を対象に遠隔教育で大学教育を受けられる準備をしている。

デジタルアーカイブ（デジタルリソース）の多様な利活用……書籍と違い、観る、読む、さらに加工処理が可能

デジタルアーカイブ開発、流通が進み、多様なデジタルアーカイブの提供や統合ポータルのような保管、流通の機関も設置されだし、図書館と同様に利用の推進もされだした。しかし、デジタルコンテンツは、書籍と違い、使う人が主体的に加工等の処理ができ、新しい活用、さらには文化が発展しようとしている。

新しい地域文化リソース、教育リソース、観光リソース、各分野のデジタルリソースは、各種の加工処理ができる資源として、今後の社会の発展に大変役に立つと考えられる。



「データ、情報、知識、知恵」の試行研究をさらに発展させ「AI等の新しい処理・適用分野」として発展の可能性を追求

- ◎科目等履修生としての科目群(コース)の設定
- ◎大学院早期履修を各分野のコースに設定
- ◎大学院科目の見直し(学部から大学院への進学または選科生として進むように構成)

(注)教育リソース管理者(仮)
(教育+デジタル・アーキビスト的内容)
準教育リソース管理者(仮)
(教育+準デジタル・アーキビスト的内容)
新しい財団等と連携し設置する。

・観光デジタル・アーキビスト
・地域文化デジタル・アーキビスト
を財団等と連携し設定。